



令和6年1月1日に発生しました能登半島地震において、被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々に衷心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、早いもので、1期4年の1年が過ぎました。昨年は、5月に我々の生活と経済に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、地域や学校の行事などが再開される中で、人々の繋がり大切さを再認識した一年であったと思います。ようやく人々の交流も活気を取り戻し、海外からの観光客もコロナ前とほぼ同様まで回復しています。令和6年度当初予算についても一昨年改訂された京都府総合計画に沿って、「子育て環境日本一」を大きな柱に掲げながら新たな産業を生み出すための取り組みなど、経済に活力を与えるための予算になっていると思います。

一方、長引く物価高騰の中、疲弊する府民生活への支援と、賃上げのための中小企業支援も同時に進めなければなりません。また、3月1日から運用がスタートした危機管理センターを中心に減災防災にも一層の力を入れていく必要があります。課題は山積する中ではありますが、引き続き宇治市・久御山町・京都府のため、こどもたちの未来のため、頑張るまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

尚、これまで活動報告を定例会ごとにお送りしておりましたが、印刷費の高騰や今秋からの郵便の値上げに伴い、やむなく送付回数を減らすことといたします。ただ、私の思いや活動についてのご報告は続けたいと思っておりますので、これまでと違った方法でのお届けを検討しております。

何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

京都府議会議員 藤山ゆきこ

12月定例会 代表質問いたしました

※抜粋のため詳細はこちら →



1 京都府子育て環境日本一推進戦略について

①結婚や子育ての不安要因となる様々な課題の改善への取り組みは？

②子育て環境日本一・京都の実現に込める決意は？

答弁

①不本意非正規の解消、正規・非正規雇用や男女間における不合理な賃金格差の解消、働きたい全ての人が働き続けることのできる職場づくりの推進、に注力。「京都企業人材確保・テレワーク推進センター（仮称）」を立ち上げ、経済団体等との連携を強化し、オール京都で「働く人の希望が実現できる」職場づくりを進めていきたい。

②4つの重点戦略(子育てが楽しい風土づくり等)と20の重点プロジェクト(子育て楽しテック等)を策定し、全力で実現に取り組む。府民、企業、地域、関係団体などと、一丸となり、国も動かしながら進めていきたい。



2 地域文化の継承と地域力の再生に向けた取組について

①地域交響プロジェクト交付金によるこれまでの地域活動支援の取組状況は？

②文化庁移転を契機に地域文化を活かした地域力の活性化に資する取組は？

答弁

①町内会をはじめ、地域活動団体が行う地域課題の解決に向けた取組に対し、本プロジェクト開始以来、年間約300件に及ぶ支援を実施。今後も財政面の支援に加え、専門家派遣による伴走支援も行い、幅広く支援していきたい。

②地域の特徴ある食文化や生活文化の体験講座、社寺や古墳でのフィールドワークなどを実施し、地域への愛着や誇りを育みながら、文化庁、市町村、地域の方々とともに、地域文化を地域の活性化に活かす取組を充実、強化していきたい。

3 京都フードテック基本構想について

①成果をどのように府内全域へ還元させ、農林水産業・食関連産業の成長産業化につなげていくのか？

②府ならではのフードテックでどのように世界に打って出るのか今後の展開と意気込みは？

答弁

①ハード面で、府内に3つの拠点を形成。

1「農林水産技術センター」（綾部市に移転）。機能強化。所得向上や専門人材の育成。技術的課題に対応。

2「オープンイノベーションラボ（仮称）」（宇治市に新設予定）。食関連産業の収益力向上と地域の活性化に寄与。

3「けいはんなフードテックヒル（仮称）」（形成予定）。国内外の大学や研究機関、スタートアップ企業などを集積し、開発される技術をいち早く府内の農林水産業や食品加工業が活用できるようにしていきたい。

②世界トップレベルの研究成果の集積を進め、世界でも評価の高い「和食」や発酵技術などとの融合により、「京もの」食品を生み出し、国内外のマーケットにおける販売戦略を積極的に展開し、食関連産業や地域の活性化を図りたい。



4 府立学校のあり方について

①ハード面における魅力づくりに対しての今後の取組は？

②府立特別支援学校の現状と今後の見通しやそれを踏まえた対応方策と教員確保と育成についての考えは？

答弁

①「府立高校魅力化推進施設・設備整備基本構想（仮称）」を策定し、単なる施設の改修にとどまらない、特色や魅力を高める環境づくりと現在取り組んでいる府立高校改革とを一体的に進めることにより、夢や希望を叶える魅力ある府立高校づくりに全力で取り組んでいく。

②児童生徒数は今後10年以内にピークに達すると予測。教室確保には増築や改修等により対応できると見込んでいる。

一方、全ての学校種で特別な支援が必要な児童生徒が増加し、求められる教育的ニーズも多様化している。外部専門家の意見も踏まえて検討。

加えて、必要となる専門性を有する教員については、一部の教員が採用時に数年間、特別支援学校で勤務する取組や人事交流制度の実施により、専門性の向上に努めている。小中学校等からの要請に応じ、助言や研修支援を行っている。授業づくりや児童生徒への個別の教育支援を継続的にサポートするとともに、各校のリーダー的役割を担う教員と連携し、校内研修をコーディネートするなど、学校全体の人材育成にも努めていく。

令和6年度当初予算案および令和5年度2月補正予算案の概要 (3/1現在)

総額 1兆44億7,600万円

令和6年度当初予算 9,950億3,100万円
令和5年度2月補正予算(当初予算と一体的に編成) 94億4,500万円

全ての営みの土台となる「安心」

1 安心できる健康・医療・福祉

- 重度心身障害者への医療助成制度充実 1億1,300万円
精神障害者の医療助成制度を創設(令和6年8月から開始予定)
- 看護補助者、介護・障害福祉職員処遇改善事業費 14億1,900万円
- 「子育て支援医療助成制度」を通年実施 29億1,700万円
通院の自己負担上限額を200円(月・医療機関)とする対象を小学校卒業までに拡大

2 災害・犯罪等からの安心・安全

- 住宅・建築物耐震化総合支援事業費 3億800万円
令和6～7年度の時的限的拡充
木造住宅耐震化支援500戸想定
耐震改修の補助基本額150万円に引き上げ
耐震改修の補助率1/3に引き上げ ※他に市町村補助あり
大規模建築物耐震化支援
耐震改修の補助率1.5倍に引き上げ(最大8.625%)
耐震改修の補助対象「除却」を追加
今春導入
- きょうと防災・減災力強化事業費 14億1,000万円
令和6年7月に危機管理センターが本格的に稼働予定
- 職員・医療救護班等の派遣等被災地支援事業費 5,000万円
- 大規模地震対応力強化事業費 1,600万円
- 特殊詐欺等総合対策事業費 3,500万円

その他の施策

- がん対策総合推進事業費 2億3,100万円
若年のがん患者へのウィッグ購入費用の助成等を実施
- 地域包括ケアアセスメントステージ事業費 25億1,400万円
- 難病対策総合推進事業費 20億9,800万円

子どもたちを育み、絆を守る「温もり」

3 子育て環境日本一・京都

- 子育ての楽しさ広げる事業費 600万円
- 子育てにやさしいまちづくり推進交付金 6,500万円
- プレコンセプションケアプロジェクト推進事業費 1,400万円
- 私立高等学校あんしん修学支援事業費 34億2,600万円
- 親子通園支援事業費 5,100万円
- 未入園児保育支援事業費 7,600万円
私立幼稚園に登園する2歳児の利用料減免支援を第1子にも拡大
- 府内初となる「ドナルド・マクドナルド・ハウス」整備 3億円

4 誰もが活躍できる生涯現役・共生の京都

- 多様な担い手確保支援事業費 2億9,100万円
- 女性活躍総合支援事業費 1億1,800万円
- 障害者活躍応援事業費 2億4,500万円

※予算案は3/1現在で一部抜粋のため、詳細はHPからご覧ください。

5 共生による環境先進地・京都

- 脱炭素行動促進事業費 5億7,800万円
一定以上の省エネ性能を有するエアコンや冷蔵庫の購入時にポイント還元等(補助要件有)

その他の施策

- 子育て世帯向け府営住宅リノベーション事業費 8,000万円
- 不妊治療給付等事業費 1億5,800万円
- あんしん「子育て一教育」京都プロジェクト事業費 500万円
- 京都市農福連携事業費 2,800万円

希望や活力の源泉となる「ゆめ実現」

支援補助の募集案内等の詳細は京都府HPで確認を。

6 未来を拓く京都産業

- 産業創造リーディングゾーン推進事業費 5億1,700万円
- 京都フードテック推進事業費 3億4,200万円
- グローバルスタートアップ・エコシステム構築事業費 1億2,800万円
- 金融・経営一体型支援体制強化事業費 4億3,000万円
賃金引き上げに向けた経営改善に取り組む場合補助額アップ
小規模事業者 補助額20→100万円 補助率3/4
中小企業 補助額30→100万円 補助率2/3
- 生産性向上モデル創出支援事業費(補助詳細下部記載) 1億円
- 伝統産業事業継続支援事業費 8,000万円
- 海外市場開拓・展開支援事業費 1億3,000万円
- 商店街のプレミアム付き商品券の発行等を支援 2億円
- 農作物高温対策事業費 2億4,000万円

7 文化の力で世界に貢献する京都

- 植物園100周年記念事業費 2億4,300万円
- 京都の文化次世代継承事業費 1億1,100万円
子ども達の生活文化体験機会の拡充・和食文化の国内外への発信等

8 交流と連携による活力ある京都

- 大阪・関西万博機運醸成促進事業費 4億5,300万円
府内の小・中学生、高校生が学校行事として万博を体験できるよう支援等
- 大学の知を活かした京都魅力向上事業費 2,500万円
- 持続可能な観光地域づくり事業費 3億6,900万円



その他の施策

- 中小企業の担い手不足や経営改善等の取組を支援 10億9,000万円
- 中小企業金融支援費 1,515億6,700万円
- 京都産業立地促進事業費 16億1,100万円
- 京都舞鶴港物流基盤重点整備事業費 10億円

人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

- 道路整備等の公共事業 598億5,600万円
- 地域交通総合対策費 20億3,600万円
地域モビリティサービスの実証運行を支援等

↓↓ご自宅の耐震チェックにご活用ください↓↓

 <p>耐震診断 (日本建築防災協会編集)</p>	 <p>ブロック塀 安全点検</p>
---	--

生産性向上モデル創出支援事業 ※内容変更の場合有。必ず正式募集案内を確認してください。

- 【対象事業】AI・IoT・ロボットなどの導入により生産性・付加価値の向上を図る取組
- 【対象事業者】京都府内の中小企業者 ※要件あり
- 【補助内容】補助率：15%以内 補助額：100万円以上1,500万円以下
- 【対象経費】財産購入費等 備品購入費等
- 【募集期間】令和6年3月25日(月)～5月17日(金)※予定
- 【補助対象期間】交付決定日から令和6年11月30日(土)

【問合せ先】 075-414-4852
商工労働観光部ものづくり振興課

